

「新しい時代にふさわしい学び」

～子どもが「学びの主人公」に～



安芸太田町教育委員会

私たちは今、社会が大きく変わる時代の中にいます。



人工知能 (AI) などのデジタル技術が発展し、暮らしや仕事が急激に変化する「新しい森」の時代——。



「これからの時代、
どうやって生きていけば
いいんだろう？」

「子どもたちが未来を
たくましく生き抜くために、
私たちの『学校』も変わらな
ければならないんだよ。」

これまで当たり前とされてきた教育を見直し、新しい時代にふさわしい学びへ転換します。

安芸太田町教育委員会

1

1. 「教える学校」から「学びを支える学校」へ

これまでは「先生が教え、子どもが学ぶ」のが
中心でした。



(先生に言われたから
やるのかな...)

これからは、子どもたちが自分で調べ、主体的に
学べる環境を整える「支える役割」が求められます。



「みんなの『知りたい!』と
いう力を信じているよ。
さあ、どうやって調べようか?」

「自分で考え、
挑戦してみたい!」

2

安芸太田町教育委員会

2. 「みんな同じ」から「一人一人を大切にできる学校」へ

これまでの「みんなで同じように」という空気から、多様な個性と「好き」や「得意」を認め合う学校へ。



違いがあるからこそ、対話生まれ、学びが豊かになります。
「同じ答え」を求めるのではなく、「違いを認め合いながら共に学ぶ場所」へ。

3

3. 「覚える学び」から「つながる学び」へ

AIが情報を瞬時に教えてくれる時代。単なる暗記ではなく、
「なぜそうなのか」という本質を考える力が求められます。



1時間ごとの細切れの授業ではなく、
単元全体をひとつの「物語」のように
つなげるのです。電流や磁石の知識が
結びつき、「なるほど!」という深い
理解と応用力に変わります。

4

4. 一人一人に合った学びへ

「授業が難しい」と感じる子、「もっと先へ進みたい」と思う子。学び方やペースは、みんな違います。



すべての子どもに同じ方法で教えるのではなく、自分のペースで進められる環境をつくります。
みんなが「自分にもできる」「学ぶことが楽しい」と感じられる学校へ。

5

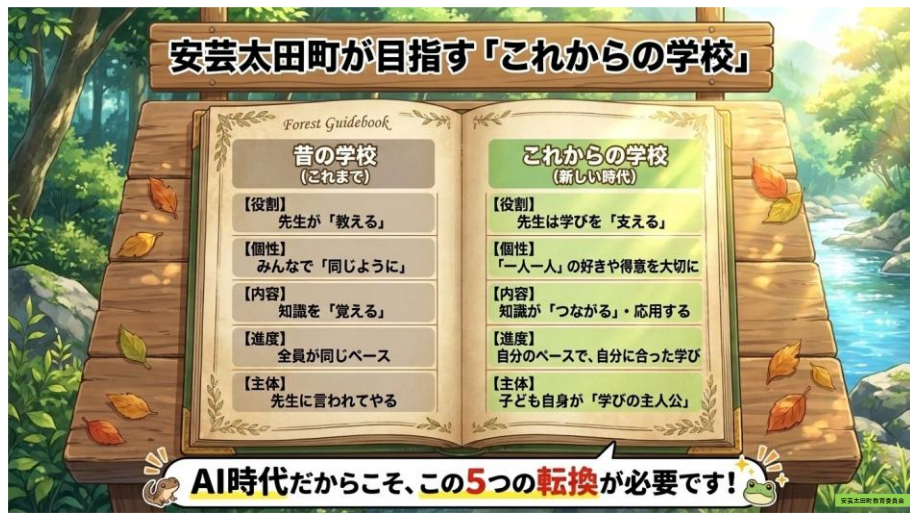
5. 子どもが「学びの主人公」になる学校へ

学校は「やられる場所」から、「自分たちでつくっていく場所」へと進化します。



学習の目標や進め方を自分たちで考え、
時には授業づくりにも参加します。
主体的に関わることで、自ら考え行
動する力が育っていきます。

6



7



8

